

小国高校

vol 157
2011.12

ジャーナル

地域文化学 各班の研究概要3

地域文化学発表会（11月22日）で配布された、各班の研究内容の概要を示したパンフレットの一部を紹介しています。

5班



撰稿: 小松司 菊田青雷 横原竜也 関口由紀 佐藤瑞穂

高石謙人 岩野力唯 大谷美香 稲田真実

小国の人々はまづかれて地域の人たちもいます。その地域の風土はなんもうとう私たちは、その風土に生きるパワースポットはどこにあるか考えてみました。そこで、このパンフレットでは、私たちがくつこぼしたい大学の教室、吉田正神社など、このշատ てくてくあるところをじめました。興味をもめていくうちに地域の風土や歴史などを学ぶ機会を持つことができます。この結果を通して、みんなで自分たちのパワースポットをもつんで、室内設立がおもはねに来てもらおも思いました。そして中高年のパワーを引き出す機会になつていいといいと思います。

6班

地域文化学6班

小国町における 保育と介護の現状

ご指導いただいた大学の先生
羽陽学園短期大学
佐々木 達雄
先生

班員 今野美涼 坂上千賀 斎藤奈々
相馬良南 栗野綾乃 佐藤 梨
山口茉耶 和田愛結美

私たちが住んでいる小国町は、自然豊かな美しい町です。しかし、全国的に少子高齢化がすすみ、小国町も例外ではありません。保育や介護は私たちに身近な問題であり、地元から社会問題を考えていきたいと考えました。小国町の保育と介護の状況を調査し、理解を深めました。さらに、高齢化と少子化の今後について、どうあればよいかを考えました。



小国町の保育や介護について何が起こっているのか、なぜそうなっているのかを通して、人間が生まれて育ち、年老いていくということを、自分の問題として捉えていくことが大切だと思いました。

7班

地域文化学7班

テーマ 小国町の医療と福祉の 現状と課題

ご指導いただいた大学の先生
三友堂病院看護専門学校
遠藤 美穂子
先生

班員：木村卓也・今 嘉葉・今 幸哉
舟山美咲・渡部紗弓・安部都美
安部真悠子・高橋奈々・渡部龍三

医療

小国病院では、医師不足やお産の問題などについて伺ってきました。

福祉(保育)

おぐに保育園では、園児数の変化などを伺ってきました。

【おぐに保育園と入所支援施設】

施設	おぐに保育園	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
在学児童・生徒数	712	635	621	626	617	603	600	602	607	606	607	606	607	604
在園児・在園者数	336	340	340	336	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
医 師	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
医 師 時	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
予防接種率 (%)	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82
予 防 接 種	100.0%	99.9%	99.8%	99.7%	99.6%	99.5%	99.4%	99.3%	99.2%	99.1%	99.0%	98.9%	98.8%	98.7%
在 住 民 数	1,252	1,251	1,250	1,249	1,248	1,247	1,246	1,245	1,244	1,243	1,242	1,241	1,240	1,239

【おぐに保育園と入所支援施設】

【健常生活指標】

さいわい荘では、資格や課題点について伺い、介護の仕事を体験してきました。



資料は本校ホームページからもご覧いただけます。また今後、今年度の研究内容をまとめた研究報告書を発行する予定です。